

令和元年7月19日

「令和元年度 第1回 阿南市在宅医療・介護連携推進会議」会議録

日時 令和元年7月18日（木）
午後7時30分から午後8時30分まで

場所 阿南市役所 6階 604会議室

内容

■ 阿南市保健福祉部部長から挨拶

■ 各委員から自己紹介

各職能団体等から選出された委員の自己紹介を行う。

出席：阿南市医師会、阿南市那賀郡歯科医師会、徳島県南部総合県民局（阿南保健所）、阿南市社会福祉協議会、徳島県薬剤師会阿南・那賀支部、阿南医療センター、徳島県介護支援専門員協会、徳島県看護協会（訪問看護）、徳島県理学療法士会、訪問介護事業所、徳島県栄養士会、阿南市介護・ながいき課

欠席：徳島県作業療法士会、阿南市地域包括支援センター

■ 議題1 訪問看護連絡会の立ち上げについて

事務局から、連絡会立ち上げの趣旨についての説明と第1回連絡会の開催報告を行う。

- ・昨年度に開催した在宅医療・介護連携推進会議において訪問介護事業所間における横のつながりがないことが課題として挙げられたことから、事業所間の連携強化を目的とした連絡会を在宅医療・介護連携支援センター主導の下で立ち上げることとなった。
- ・第1回訪問介護連絡会を6月27日に開催し、市内26事業所のうち15事業所に出席いただいた。
- ・各事業所からは、「ヘルパーの人材が不足している」、「サービス計画書等の様式が定まらず作成に苦慮している」といった課題を挙げていただいた。様式については在宅医療・介護連携支援センターがサンプルを提示することで支援していくこととする。
- ・在宅における看取りについては15事業所のうち2事業所で実績があったものの、他の事業所においては夜間や救急時等の対応が困難であると思われる。
- ・第2回訪問介護連絡会は1月頃を目途に開催する予定。訪問リハビリ、通所リハビリの連絡会も同様に立ち上げ、秋頃の開催を目指す。その後、在宅介護に関わる全ての連絡会等を統合した「阿南市在宅サービス事業所連絡会（仮）」の開催を予定しており、医師会、歯科医師会にも併せて御参加いただければと考えている。

(訪問介護事業所所属の委員から)

人材不足といった訪問介護事業所が抱える課題は共通している。事業所間の情報共有を進めることで資質向上に努めていきたい。

■ 議題2 多職種連携研修会の開催について

事務局から、今年度における多職種連携研修会の開催予定の連絡と各職能団体等に対する協力依頼を行う。

- ・事業初年度においては参加者のほとんどが介護関係者に偏っていたため、各職能団体（特に医療系）に対して参加を呼び掛けていただいたところ、昨年度は各分野から平均70人程度の方に参加いただけるようになった。結果としてグループワークが有意義なものになったと考えている。
- ・阿南市那賀郡歯科医師会と連携した研修会を9月に、阿南市医師会と連携した研修会を年度後半に開催する予定としている。開催時間は午後7時～午後8時30分の予定であるが、詳細が決定しだい案内させていただくので参加の呼び掛けをお願いしたい。

(社会福祉協議会（地域包括支援センター兼務）所属の委員から)

介護支援専門員のアセスメントにおいても、口腔、栄養についての視点が乏しい傾向にあることが課題となっている。9月の多職種連携研修会では地域包括支援センターの主任介護支援専門員部会と協働し、介護支援専門員の意識向上を図っていきたい。

■ 議題3 市民公開講座について

事務局から、今年度における市民公開講座の企画について説明を行った後、各委員から意見をいただく。

- ・開催日時は令和2年1月26日（日）午後1時～午後4時の予定。
- ・メインテーマを「認知症」とし、地域住民の認知症に対する理解を深め、認知症になっても在宅で暮らし続けられる地域づくりを推進する。
- ・基調講演（講師は未定）、在宅介護事業所における取組の発表、各職能団体による特設ブース、芸能グループ等地域団体の発表等の内容を予定しているが、詳細はこれから検討していく。
- ・過去2回の開催では一般の方の参加が少なかったため、地域住民にも関心を持っていただけるような内容にしたい。

(薬剤師会所属の委員から)

地域住民向けということであれば、「認知症予防」への関心が高いと思われる。在宅介護事業所における取組発表のテーマにしてはどうか。

(介護支援専門員協会所属の委員から)

地域包括支援センターが「認知症サポーター養成講座」の一環で実施している寸劇を披露してはどうか。

特設ブースにおいて「認知症カフェ」を再現してみてもどうか。

(歯科医師会所属の委員から)

運営スタッフとして「認知症サポーター」の方に協力を依頼してはどうか。

(看護協会所属の委員から)

市内の各学校でも「認知症サポーター養成講座」の取組を進めている。「認知症サポーター」である児童・生徒への協力依頼も考えられる。

脳年齢・血管年齢の測定ができる機材を所有しており、ブースでの活用が可能。

(医師会所属の委員から)

市内の高校の演劇部に協力依頼はできないか。

(社会福祉協議会（地域包括支援センター兼務）所属の委員から)

若年性認知症が地域課題の1つとなっているため、地域包括支援センターとしてはその啓発に向けたブースを設置したい。

社会福祉協議会としては、ボランティア人材の紹介はできると思われる。

(理学療法士会所属の委員から)

理学療法士会としては、運動機能のチェック等ができるブースの設置という形で協力できる。

■ 議題4 病院等（MSW、NS）と介護支援専門員の意見交換会について

事務局から、意見交換会の開催と事前に行うアンケート調査について説明する。

- ・かねてから入退院時における病院等と介護支援専門員との連携強化が課題となっている。「入退院時の制度を理解しよう」をテーマに、双方の距離を縮めることを目的とした意見交換会を開催する。
- ・開催日は9月9日（月）を予定しているが、事前に市内の病院で勤務する医療ソーシャルワーカー及び病棟看護師を対象としたアンケート調査を実施し、昨年度介護支援専門員を対象に行ったアンケート調査の結果と併せて、双方の現状及び課題を整理する。
- ・アンケート調査の対象機関は、岩城クリニック、羽ノ浦整形外科内科医院、玉真病院、宮本病院、原田病院、杜のホスピタル、阿南医療センター、馬原医院とする。林整形外科は病棟を閉鎖したため対象外とする。

■ 議題5 阿南市医療機関・介護サービス事業所マップの更新について

事務局から、マップの案を示しながら今後の普及・啓発の展開について説明を行う。

- ・マップの掲載内容については再度チェックを行い、正確性を期した上で公開する。

- ・阿南市のホームページからダウンロードできるようにするほか、印刷・製本したものを地域包括支援センターの協力を得ながら各公民館へ配布したいと考えている。

■ その他 在宅医療・介護連携支援センターへの相談事例について
事務局から、在宅医療・介護連携支援センターへ寄せられた相談事例（3件）
についての報告を行う。

- ・退院後の介護サービスへのつなぎについて
- ・サービス付高齢者向け住宅における看取りについて
- ・訪問診療について

次回開催は令和元年11月を予定している。